もない話です。

事故が起きてからでは遅いのです。住民のみなさんに横浜での墜落事故で林和枝さんが味わったような辛い思いをさせてはなりません。今後の対応についてお伺いします。

福井町長

飛行訓練にかかる日米合意違反が明確になれば、町民の安全を守るためにも米軍や防衛省に抗議や要請が出来ると考えていますが、既に3月7日、四国四県の各町村会長の連名でオスプレイの低空飛行訓練の中止について、防衛大臣に要請書を提出しています。今後とも県及び関係市町村とも連携して、低空飛行訓練に係る監視を継続し、違反の事実が明らかになった場合は、必要な措置をとって行きたいと考えています。

栗林総務課長

米軍機の飛来については、町も監視体制をとっています。オスプレイにつきましても、県総務課を通じ、防衛省中国四国防衛局から連絡がありましたので、監視体制をとりました。

今後は、郡内の担当者会議で連絡体制について提案し、協議していきたいと思っています。

牟岐町上空を飛行する米軍機

更新住宅建設に係わる諸問題について

藤元議員

当初、更新住宅の建設は50戸の予定でしたが、最終的には34戸に変更され、現在全てが完成しています。ただ、町民のみなさんから「完成したのにいつまで放置するのか」「改良住宅を取り壊して、公園を造るのではなかったのか」との声が寄せられています。

計画された当時は、「住まない住宅は建てない」、「最終入居期限を平成23年12月まで」と、町当局は答弁してきました。しかし、現実は、そのようになっていません。せっかく完成したのに入居がなく、長く放置されている状況は大変残念なことであり、早く正常な状態にしていただきたいと思います。

現在の入居状況、入居後亡くなった場合などの住宅の取り扱い、移転が完了していない6世帯の入居や取り壊しの見通し、今後の対応についてお伺いします。

福井町長

改良住宅については、今年度できるだけ多く解体、撤去する予定でしたが、撤去見通しが曖昧なものがあり工事発注が遅れています。事業自体は1年延伸していますが、来年度中には解体が必要です。今後は、法的措置も視野に入れながら交渉にあたって行く必要があると認識しています。

岩田住民福祉課長

建築当初から入居していないのが6戸あり、死亡や施設入所で空き家になっているのが5戸あります。この5戸分については、早急に公営住宅化ということで対応し、検討しなければならないと考えています。

入居の見通しは、一言で申し上げると難航しております。今後は、法的対応ということも考えていますが、時間と経費がかかりお互いメリットがないということもありますので、円満な解決に向けて引き続き粘り強く移転交渉をしていきたいと考えています。

町職員によるボランティア会は組織化できないか

横尾　政明　議員

以下は一公務員の論文からの引用です。

「現代社会において、ボランティアの活躍は必要不可欠なものであるので、ボランティアを促進するための施策が必要であると考える。また、この活動をしや